2026年度 第14号

松戸保健所感染症情報

発行日：2026年 10月16日（金）
発行：松戸保健所（松戸健康福祉センター）疾病対策課
2026年第40週 2026年9月28日～10月 4日
2026年第41週 2026年10月5日～10月11日

保健所からのお知らせ

令和８年９月２５日より、千葉県では「インフルエンザ注意報」発令中です。
こまめな手洗いや十分な休養をとる、バランスの取れた栄養を摂取するなど、基本的な感染対策に努めましょう！

全数把握対象疾患

松戸保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。
全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	2026年第40週～第41週		累計（2026年第1週～2026年第41週）
2類感染症	結核	4	88
3類感染症	腸チフス	1	2
4類感染症	デング熱	1	1
	レジオネラ症	3	23
5類感染症	急性脳炎	1	22
	梅毒	3	35
	百日咳	1	25

定点把握対象疾患

上段：報告数
下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値）

前週比：↓減少 →横ばい ↑増加

小児科定点

疾病名	前週比	第41週	第40週
RSウイルス感染症	↓	14 1.27	33 3
咽頭結膜熱	→	- -	- -
A群溶血性レンサ球菌感染症	↑	41 3.73	25 2.27
感染性胃腸炎	↑	48 4.36	23 2.09
水痘	→	5 0.45	5 0.45
手足口病	↑	41 3.73	16 1.45
伝染性紅斑	→	- -	- -
突発性発疹	↓	5 0.45	7 0.64
ヘルパンギーナ	↑	28 2.55	18 1.64

数値は報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

急性呼吸器感染症

疾病名	前週比	第41週	第40週
インフルエンザ	↓	517 25.85	525 26.25
新型コロナウイルス感染症	↑	68 3.4	45 2.25
急性呼吸器感染症（ARI）	↑	2803 140.15	2458 122.9

眼科

疾病名	前週比	第41週	第40週
急性出血性結膜炎	→	- -	- -
流行性角結膜炎	↓	- -	2 0.4

※急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか１つ以上の症状を呈し、
発症から１０日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う所見症例

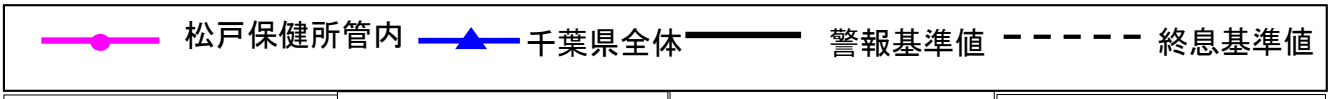
【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

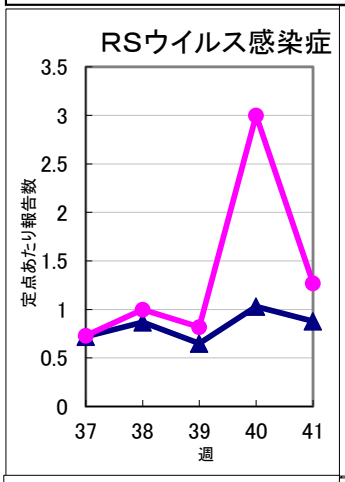
活動性結核（①～④）	
①喀痰塗抹陽性	1
②その他の結核菌陽性	0
③菌陰性その他	2
④活動性肺外結核	1
無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）	0

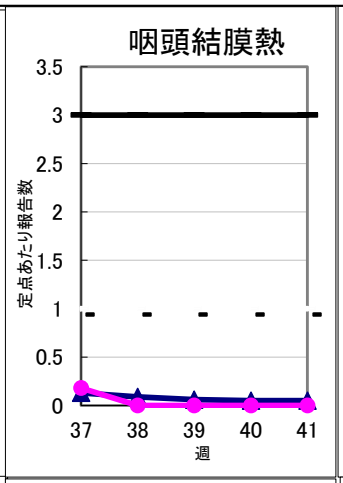
【集団感染発生状況】

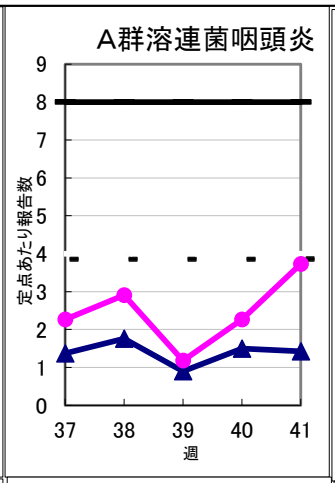
疾患名	報告数
インフルエンザA型	9 件（保育施設）
	1 件（高齢者施設）
新型コロナウイルス感染症	1 件（高齢者施設）

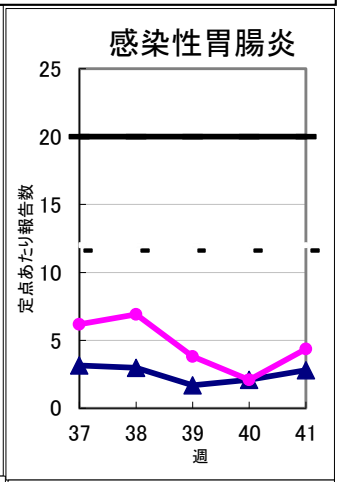
松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

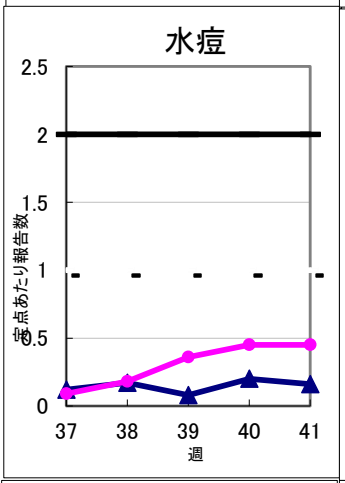


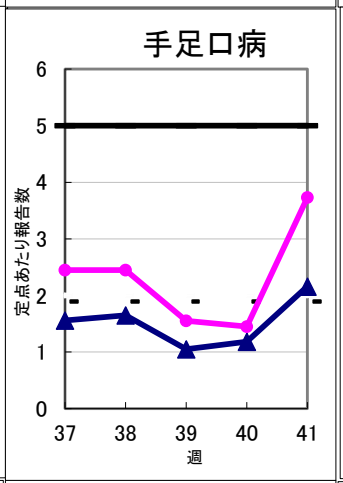


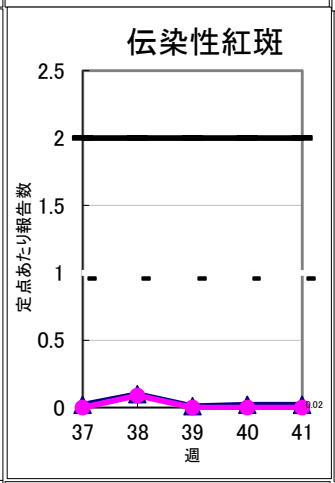


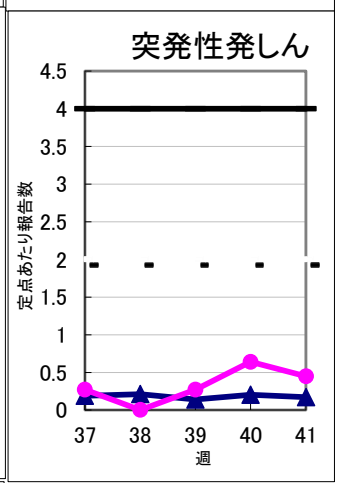


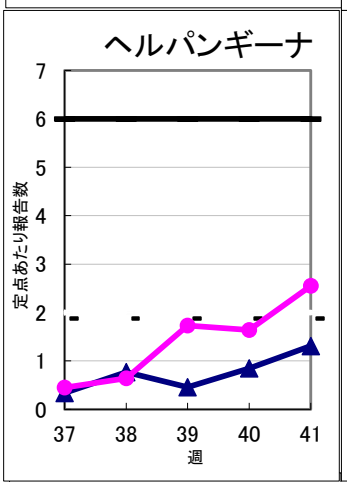


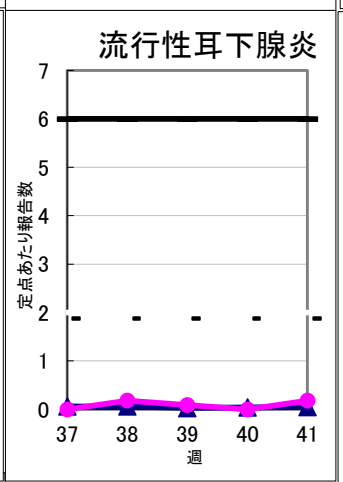


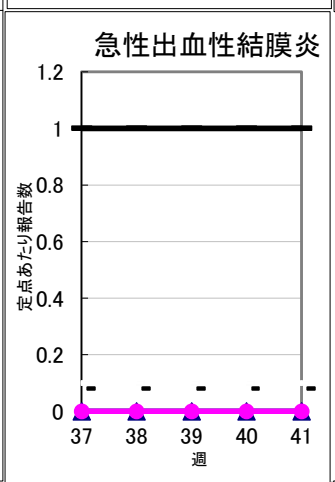


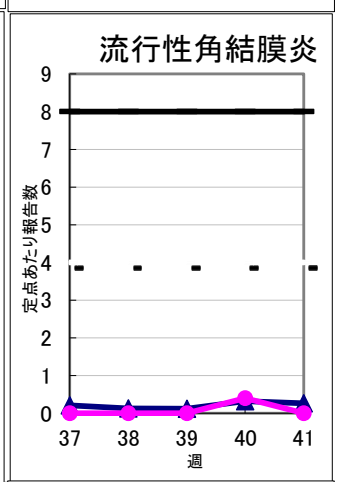


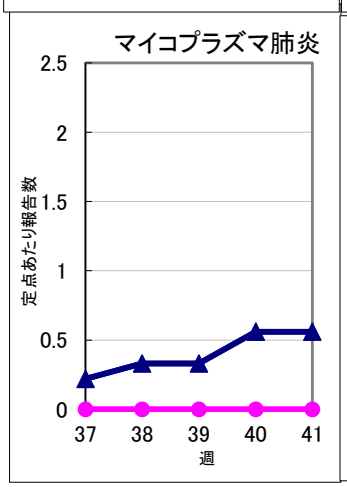


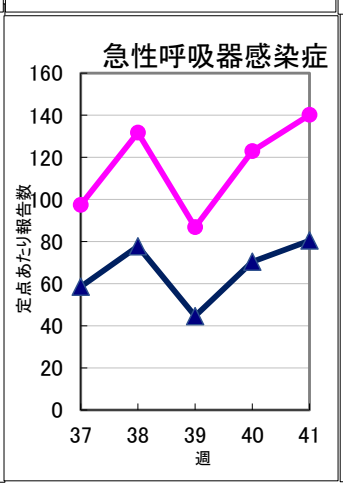


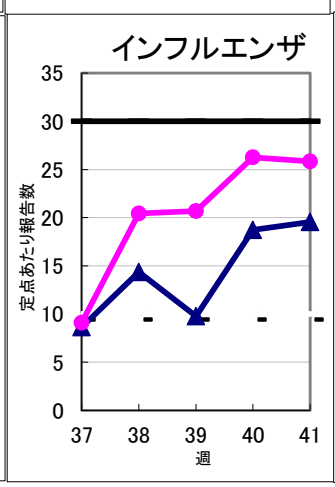


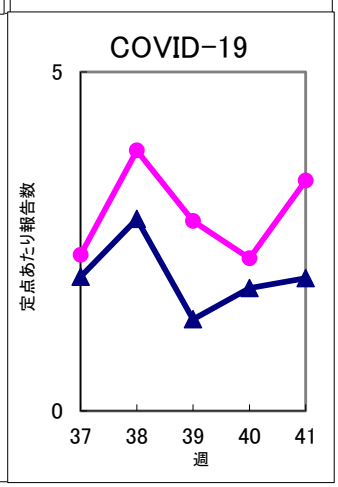












松戸保健所感染症情報

2026 年度
第 14 号

日本脳炎

感染症について

2026 年第 40 週に千葉県内医療機関から 1 例の日本脳炎の届出があり、本年の累計は 3 例となりました（図１）。患者は 80 代で海外への渡航歴はありませんでした。

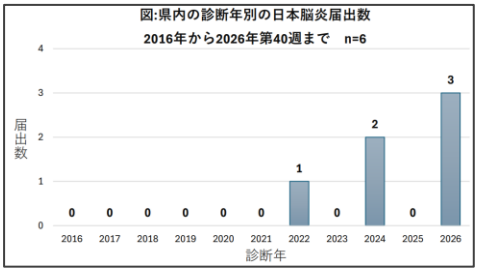


図 1千葉県結核・感染症週報　2026年第40週
出典 ：wwr2640.pdfr2641

感染経路
・日本脳炎ウイルスに感染した豚等を吸血した蚊がヒトを吸血することにより感染する
・ヒトからヒトへの感染はなく、感染者を刺した蚊に刺されても感染することはない

病原体
日本脳炎ウイルス

潜伏期間
6 日間から 16 日間まで

症状
・症状割合は、100 から 1000 人に 1 人程度であり、大多数は不顕性感染（無症状）で終わる
・数日の高い発熱、頭痛、嘔吐などで発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害、けいれん等の脳神経症状を生じる
・大多数の方は、無症状に終わるが、脳炎を発症した場合 20 % から 40 % が死亡に至る

以下のチェックリストを参考に、予防対策に努めましょう！

【 蚊 の対策】
- **長袖・長ズボンの着用**
- **露出している皮膚へ虫除け剤を使用**
- **蚊が発生しないように水たまりをなくす**

【日本脳炎のリスク軽減】
- **ワクチン接種※**
  ※ワクチン接種することでリスクを 75 %から 95 %軽減できると報告されている

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染症について

病原体
A群β溶血性レンサ球菌

潜伏期間
2 日から 5 日

流行時期
・春から初夏
・冬季

感染経路
・飛沫感染
・接触感染
（急性期が最も感染性が高い）

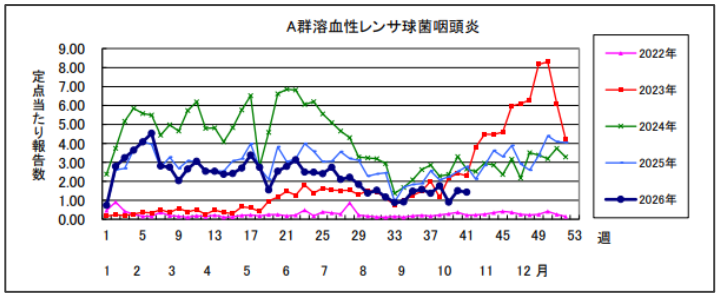
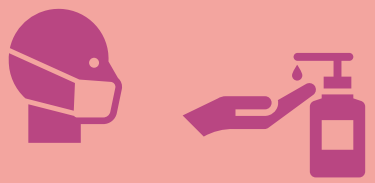


図 2千葉県結核・感染症週報　2026年第41週
出典 ：wr2641.pdf

症状
・発熱、咽頭痛、倦怠感、嘔吐など　（咽頭炎は学童に多い）
・急性糸球体腎炎やリウマチ熱などの合併症を呈することがある
・突発的かつ急速に多臓器不全に進行する劇症型溶血性レンサ球菌感染症を起こすことがある
※劇症型溶血性レンサ球菌感染症は成人に多いと言われている

予防のために

- **患者との濃厚接触を避ける**
- **手洗い**
- **咳エチケット**



※承認されたワクチンはない

参考文献
（1）【日本脳炎】感染症予防のための情報提供について(令和８年１０月１日)
【日本脳炎】感染症予防のための情報提供について（令和8年10月1日発表）／千葉県
（2）千葉県結核・感染症週報　2026年第40週
wr2640.pdf
（3）A群溶血性レンサ球菌感染症
A群溶血性レンサ球菌感染症｜国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト